

# アイルランド人(そして皆の)幸運: FSAI の新しい食事研究で「BPA 暴露は低懸念」との結論

BY STEVEN HENTGES, PH.D 2016 年 3 月 16 日 IN POLICY

聖パトリック祭(St. Patrick's Day)にちょうど間に合って、アイルランド食品安全局(FSAI)は、アイルランドの普通の食事で摂取する 147 の飲食料品を解析したトータルダイエツ調査:[Total Diet Study](#) (TDA) つまり「全食事量調査」の結果を発表した。そう、この調査にはビールも含まれる。

しかし周知の通り、この季節にある種の緑を呈する、炭酸の少ない生ぬるいスタウトやラガーを越えて、FSAI は金属類、必要栄養素、食品添加物、残留農薬を含む広範囲に及ぶ他の化学物質についても結果を公表した。

FSAI の解析結果で最大のお持ち帰り(takeaway)が以下である。

「全体として、アイルランドの住民は概して食事に含まれる化学汚染物質によるリスクはないと言  
う結果であった。」

「Exposure to BPA 暴露は低懸念である。」

ビスフェノール(BPA)は、[多種多様の消費者製品](#)となるポリカーボネートやエポキシ樹脂製造用に  
欠かせない化学物質であり、FSAI の報告書にも記述されている。エポキシ樹脂は一般に飲食料  
品缶の保護コーティングに使用されヒトの BPA 暴露の主要因は通常食事によるものと考えられ  
ている。

FSAI によれば、分析したサンプルの 30%のみに低レベルで検出されただけである。そして調査  
では、食品中に検出されたレベルと食品の消費データを組み合わせて平均及び平均以上の消費  
者の双方に対し、BPA の全食事摂取量を推定した。これらの値を欧州に於ける最も厳しい健康  
影響に基づく指標値と比較して、「BPA 暴露は低懸念である。」との結論を下した。

心に留めておくべきは、FSAI が非常に真剣にこの作業を行った事である。彼らはアイルランドに  
於いて「アイルランドの市場で消費、流通、生産、及び販売される食品の安全性を確保する」法的  
責任を負っている。この責任の一部として FSAI は「[過剰量を体内に摂取した場合、健康リスクを  
引き起こすであろう特定化学物質の全住民への食事暴露の測定のため](#)」定期的に TDS を実施し  
ている。

FSAI のような機関が BPA 暴露は低懸念であると述べた時、それは - (冗談や誇張でなく)本  
気で言っているのだ。

さらに重要なことに、FSAI の調査結果と結論は、欧州食品安全機関(EFSA)の最近の研究結果と一致している。FSAI が特筆したように、EFSA は 2015 年の 1 月に「BPA は現在の暴露レベルでは、(胎児、幼児や 未成年を含む)全ての年齢層の消費者に対して健康リスクは無い。」と結論を出した。

FSAI や EFSA に加えて、米国食品医薬品局(FDA)も BPA の安全については同様の考え方をしている。FDA は「BPA は安全ですか?」との質問に対して明確に一言で「Yes」と答えている。

そう、「**yes**」

あなたたちは今年の聖パトリック祭は、BPA の心配をせずに大好きなアイルランド料理(とビールも)を遠慮なく楽しむ！